



吉備中央町

議会だより

第76号

令和7年1月20日発行
発行/岡山県吉備中央町議会
〒716-1192
岡山県加賀郡吉備中央町
豊野1-2
TEL.0866-54-2081
FAX.0866-54-1366
編集/議会広報編集委員会

駆け抜ける2025

HAPPY NEW YEAR

2025



TOPICS

12月定例会	3
8議員が町政を問う	4
次世代議会	13



年頭あいさつ 2025

議長 西山 宗弘



新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、すてきな新年をお迎えのことと拝察いたします。令和7年の幕開けにあたり、吉備中央町議会を代表して、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、本年は2025年、21世紀も四半世紀を迎え、町ひいては日本全体を取り巻く環境は大きく変化しました。特にデジタル化の勢いは目を見張るものがあ

り、これからもこの流れは加速していくと思われま

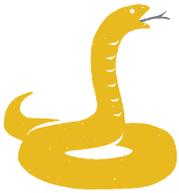
す。そんな中、町は今後もデジタル技術の力を取り入れながら、皆さま方の暮らしをより豊かにしていく必要があると感じています。議会といたしましても、誰一人取り残されない「まちづくり」を目指し、さまざまな課題の解決や町の発展に向けて推進してまいります。

一方で、デジタルだけでは対応しきれない課題にも、目をむけていかなければなりません。特に、少子高齢化問題は喫緊の課題となっております。町の出生数を増やす取り組みに加え、移住者を増やし、分け隔てなく迎え入れられる環境を整備していくことが必要だと

考えています。

そして、そのためには町全体の魅力アップがかかせません。基幹産業である農業をさらに振興しながら、「町にしかないもの、町だからできること」をより多くの方々に届けられるよう頑張つてまいります。

本年も町民の皆さまに寄り添いながら、清く活力的なある議会を運営してまいりますと思ひます。皆さまの深いご理解とご協力を心からお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



副議長 黒田 員米



新年あけましておめでとうございます。皆さまには希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より議会へのご理解と温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと一番に思い浮かぶのは能登半島を中心として多発した自然災害ではないでしょうか。

また、8月には初めての南海トラフ地震臨時情報に

より、多くの国民の生活に混乱と支障をもたらしました。

本年こそは災害のない穏やかで、安心できる一年であることを心より願うところで

ございます。議会としましても9月の選挙により新しい構成となり、新鮮な気持ちと柔軟な考えで、町の抱える多くの課題解決に向けて全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとって本年が幸多き年になりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

低所得者支援給付金の 給付を実施

12月定例会

12月定例会は12月4日開会。21議案(条例改正、公の施設の指定管理者の指定、岡山県市町村総合事務組合規約の変更、損害賠償事件の和解、令和6年度一般会計及び特別会計補正予算、賀陽財産区管理会委員の選任同意、陳情)が上程された。審議の結果いずれも原案どおり可決され、20日閉会した。

条例の改正など (主なもの)

◎吉備中央町の税条例の一部を改正する条例

前納報奨金制度(対象は個人町民税と固定資産税「個人及び法人課税」)は、税収の早期確保と自主納税意欲の高揚を目的として創設。しかしながら全国的な廃止の流れ、制度の不公平感、国が進めている基幹業務システムの統一・標準化に当制度の実装がおこなえない。そして創設から70年以上が経過し、当初の目的が達成されたことなどから令和8年4月より廃止される。

◎吉備中央町国民健康保険条例の一部を改正する条例

県内の保険料水準の統一化により、令和7年4月から出産一時金及び葬祭費が変更。

◎吉備中央町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

町指定のゴミ袋を原材料費の高騰に伴い、令和7年4月より20ℓ、45ℓの袋を、それぞれ150円、300円に改正。

◎公の施設の指定管理者の指定

吉備中央町エコセンターは、町における農業の安定かつ長期的な振興及び畜産

に起因する環境汚染の防止を図るため、公益財団法人吉備中央農業公社を選定。期間は、令和7年4月1日から3年間。

◎損害賠償請求事件の和解
町内の業者が、町発注工事入札において、入札に参加できなかったことによる損害賠償を求めている。岡山地裁より、和解案の提示。

一般会計補正予算 (主なもの)

◎上水道事業出資金
7377万3千円

◎米作り農家応援事業農家支援金
7760万円

◎低所得者支援給付金
5670万円

◎「持続可能な学校の実現をめざす」実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情
採択(全員賛成)

国による住民非課税世帯に対する1世帯3万円、子

ども一人につき2万円の給付金の交付。

特別会計補正予算 (主なもの)

◎上水道事業会計
1億8623万円
円城浄水場への送水管施設整備工事。

同意事項

◎賀陽財産区管理会委員の選任
管理会委員の選任7名(新任1名、再任6名)
任期は、令和6年12月22日から4年間。

陳情

◎「持続可能な学校の実現をめざす」実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情
採択(全員賛成)

ここが聞きたい

8議員が一般質問

質問者の順番はくじ引きによる

(12月16日)

ページ	議員名	主な質問項目
5	平澤 一浩	公民館の設立 生活利便性の向上 災害復旧補助制度
6	河上真智子	緊急車両の通行の確保 旧竹荘中学校の活用 町内の高校を進学先として活用
7	日名 由香	今後の町の発展に向けたビジョン 教育の充実
8	我妻 瑛子	PFAS問題 猫の問題
9	黒田 員米	円城浄水場問題 吉備高原都市の後期計画 生活道路の維持管理

(12月17日)

ページ	議員名	主な質問項目
10	渡邊 順子	吉備中央町の農業を取り巻く環境
11	丸山 節夫	農業振興
12	山崎 誠	町内巡回バスの検証と足の確保 小学校跡地利活用の行政支援 円城PFAS問題の血液検査と土壌汚染対策 集いの場の効果と支援

議会を傍聴しませんか？

本会議は一般に公開されていますので、誰でも自由に見たり、聞いたりすることができます。皆さんの日常生活に関係のある重要な問題が審議されています。町政をもっと知るために、議会の様子を傍聴してみませんか？

※当日傍聴席入口で、傍聴人名簿に住所・氏名などを記入するだけで、事前に予約する必要はありません。

一般質問とは、町の行政全般にわたり、町長の方針や見解、説明を求めるものです。



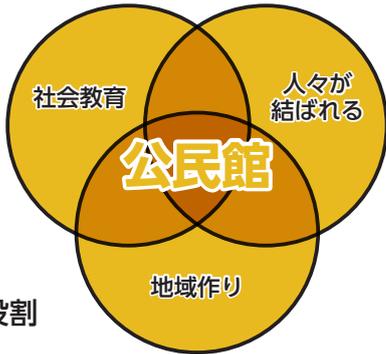
平澤 一浩

問

吉備高原公民館の新たな建設は

答

思いがかなう時期は結構早い



公民館の役割

問

公民館の存在とは。

答

大月教委事務局長

公民館は地域住民

の方のために社会教育を行う拠点施設と位置づけられ、仲間同士が集まり結ぶことを促し、人づくりや地域づくりに貢献する施設と認識している。本町でも地域の拠点として地域の方々が、講座やクラブ活動、スポーツや文化祭などの活動により年代を超えて交流を深める場となっている。

問

吉備高原公民館が吉備高原小学校の一

答

教委事務局長

角に置かれていることについて適切と認識しているか。

町内にある公民館は10館あるが、独立した建物として運営しているのは6館で、残り4館は福祉センターやコミュニティセンターなどに事務所を構え運営している。吉備高原公民館については、吉備高原小学校内に位置しているということから常時利用できる部屋が限られてくるため、現在の活動状況を鑑みると新たな対応が必要と感じている。

問

吉備高原公民館の今後の展望は。

答

山本町長

以前、施設整備の拡充について自治組織連絡協議会から陳情があった際には、町内の他の公民館との関係性などを鑑みつつ検討していく慎重な意見もあり、趣旨採択となった。今後の活動状況や地域の情勢などを検討する中で、地域の皆さんの思いがかなえられる時期は結構早いのでは

問

進めるにあたり、障壁となるものや課題となるものはあるか。

答

町長

障壁となるものはない。しかし新たなものができた後、地域活動の幅をひろげ生涯学習、社会教育の大切さを広めていただきたい。

生活利便性の向上の現状と今後

答

大堰企画課長

スーパーマーケットやドラッグストアなど、住民から新たな選択肢としての商業施設を求める声は町としても把握し、企業誘致活動を進めている。しかし、スーパーマーケットであれば車で10分の商圏範囲内に1万人の人口が必要という企業側の要望により誘致には至っていない状況。今後の誘致活動には出店者に対して何らかのインセンティブも一緒に考えていく必要がある。また地域の特性やニーズに応じた買い物

環境の整備も検討し、住民の利便性向上に努めていきたい。

災害復旧補助制度

答

大月建設課長

国の補助対象とならない小規模な災害の復旧のために平成16年10月本町合併当時に策定した。その後、平成23年、30年、令和2年と補助制度の見直しをおこなっている。

問

物価高騰への対応は。

答

建設課長

近年の物価上昇は建設に伴う人件費や資材等にも及んでおり、受益者負担も増えていくと考えられる。

問

受益者負担の見直しは。

答

建設課長

近隣市町の状況을参考にし、制度改正については今後研究していく。

その他、「地域猫の活動」を質問した。

迅速な救急搬送を望む

安全で確実な活動を実施



河上 真智子

答

路面状態が悪い道路などは避けている。より早く、安全に走行できる経路を選択しているとのこと。

問

救急車が通行できない箇所や転回ができない箇所点検が必要。また、そのような箇所を指令画面やナビ画面に表示できないか。

答

総務課長 通行が不可能な箇所を確認した場合には、まず道路管理者に情報提供をしていただきたい。支障木伐採や部分的な拡張工事の補助金などを使い対応できることもある。

答

山本総務課長

岡山市消防局に確認したところ、最も気をつけているのは、事故や車両トラブルで救急搬送ができなくなってしまうこと。そのため、できるだけリスクの少ない道路を選択し、



待っています

町からも、より一層迅速な到着につながるように要望をしていく。

問

旧竹荘中学校の活用
閉校後10年が経過し、建物の老朽化、校庭を含む景観の荒廃が目立つ。利活用について、人口ポータルで「優先交渉権」を獲得した事業者と交渉中

である。交渉経過の概略はどうなっているか。

答

大樫企画課長

事業者と現況、老朽化具合、修繕の必要性と経費などの協議をおこなってきた。11月29日には、事業を実現するための基本事項や土地建物の貸付契約に関する必要事項を定めた「基本協定」を結んだ。「基本協定」は、契約ではなく、協議をするための申し合わせである。

問

活用要件の「対象物件全体」と「施設改修・維持管理計画」は確実に履行ができるか。

答

企画課長

活用計画は全体と なっているが、まずは1階からコストを抑えながら順次事業をおこなっていく予定。

問

改修などにかかる費用の町費投入や賃料の減免はあるのか。

答

企画課長

町費の投入はない。賃料の減免措置には、議会の同意が必要。

吉備高原学園高校の活用

問

町内にある唯一の高校である「吉備高原学園高校」を活用し、通学が不便な学生の進学先の選択肢に加えてはどうか。

答

山本町長

町内に自宅から通いやすい高校があれば、町の魅力づくりや定住促進としていいと思う。「吉備高原学園高校」は、町にとっても大事な学校である。町内学生の一部通学制や『国際バカロレア教育』の導入構想について協力していきたい。

問

今後の取り組みは。

答

町長

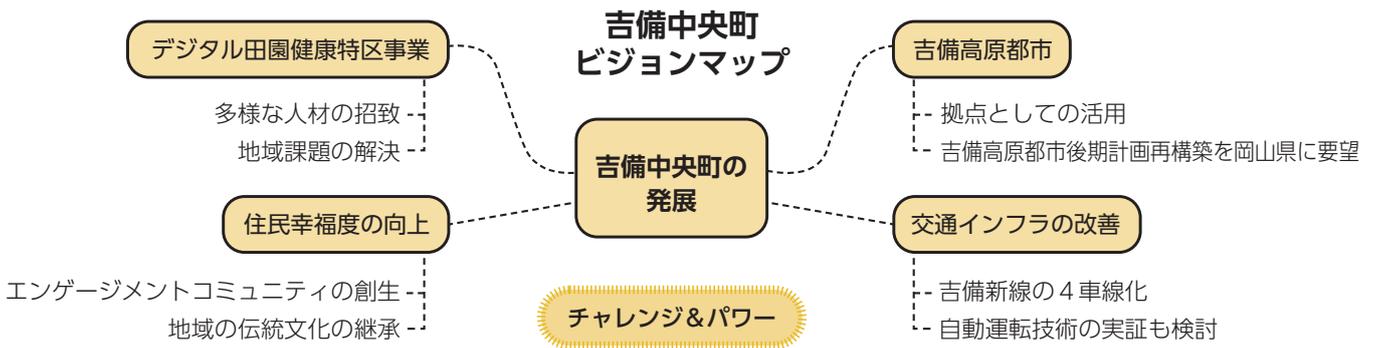
進路の多様化により、定員割れが起きている。この高校は公設民営方式である。理事長である県知事との交渉をはじめ、町も一丸となって協力して存続のための方策をとろうと思う。また、いろいろな活動を通じて連携や交流を深めていきたい。



日名 由香

問
まちの発展に向けたビジョンは

答
期待が持てる未来をつくる



教育の充実

問 ①アフタースクールの事業の現在の具体的なスケジュールや進捗状況は。

②「やって終わり」にならないよう振り返りの機会を持つか。

③人材確保や支援体制についての課題は。

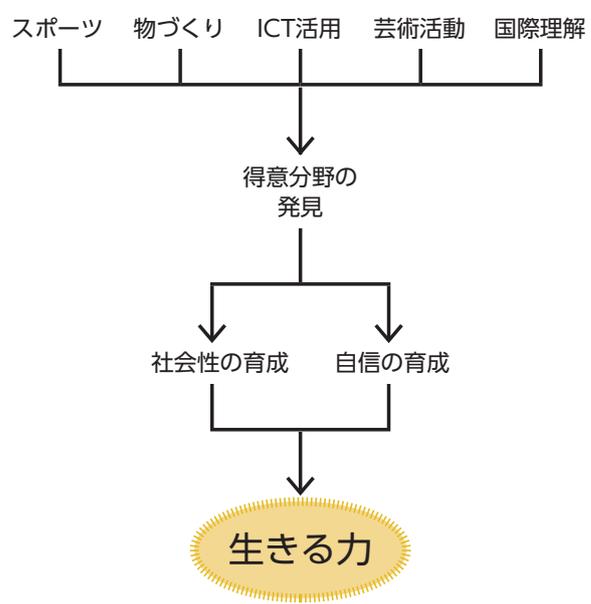
答 **大月教委事務局長**
 ①令和7年6月下旬開始予定。

年間計画や講師選定を進めている。保護者への説明会を年度内に開催し、広報紙を通じて周知する予定。

※1 ②アフタースクール事業は、子どもたちが様々な体験を通して、得意分野を発見できるなどの気づきの場となることを第一にして実施していく計画。その日の活動の感想を発表し合い、学期ごとに振り返りの時間を確保する時間を設けられないかなどの検討を進めていく。

③継続的に起こすためには、児童に魅力あるプログラムを提供できるかが一番。地域の方々や各専門分野の方々には協力をいただきながら、講師の候補を常に探していく。児童たちが積極的に挑戦できるように努めていきたい。

※1 **アフタースクール実施で期待される効果**



問 メジャーリーガー大谷翔平選手の寄贈グローブを活用し、夢や目標を考える場と、地域で野球を楽しむ機会を提供する2つのプログラムを取り入れるのはどうか。

答 **石井教育長**
 そういったものが次々と発展していったら、子どもたちがそこから次への動きにつなげていくということは、大切なことと考えている。



夢をつかめ！

除染や賠償を排出企業へ

置いた企業に交渉予定



我妻 瑛子

問

答

問 健診受診につなげるためにもPFAS関連疾患を住民に知らせてはどうか。

答 塚田保健課長
今回実施した血液検査結果を令和7年1月中旬に戸別に送付予定。そのなかに、検査結果以外でどのような内容を盛り込んでいくのか、検討中。指摘の内容も大切な情報の一つだと考えている。

答

保健課長
医師会に対しては、血中濃度検査の結果を不安に思われた方が相談に行かれることがあると伝えられている。研修会や今後町から示す内容をもって対応していただけるよう、お願いをしているところ。町から示すものは協議中。

問 除染や賠償を排出元の企業までを視野に入れた取り組みを検討しているか。

答 山本総務課長
現在のところ、あくまで活性炭を置いたときされる企業に対して交渉をおこなっていく予定。

問 水源の切り替えや給水活動、健康影響調査、除染などの費用負担を国にも求めるべきではないか。

答 総務課長
費用負担をいただきたいという思いはあるが、非常に難しい。

猫の問題

問

猫が好きなお人、嫌いな人に関わらず、飼い主のいない猫を減らすことは、みな共通の思いではないか。町独自の、飼い主のいない猫への避妊去勢手術費用補助事業が必要ではないか。

答

宮田住民課長
今後検討していきたい。

問

飼育、餌やり管理など、周知や助言の役割を担える人が必要。動物愛護管理担当職員、動物愛護推進員には、相談があった際、現場で具体的なサポートをしてもらえるようにしてはどうか。

答

住民課長
猫に関しては残念ながら犬のような業務は、うたわれていない。したがって、飼育方法や捕獲など、具体的なサポートができる職員を配置することは大変困難な状況にある。

問

保健課長
特定検診項目に含まれない甲状腺ホルモンや腎工コー検査をオプションで受診するよう後押しが必要ではないか。

答

保健課長
現時点では健診の一つとして実施するのではなく、まずは健康調査票、がん登録などの既存資料で問題を早めに察知できる仕組みを検討することがよいのではないかと考えている。

問

保健課長
腎臓がんは希少ながんだが、初期症状が無いのが特徴。血尿が出てからでは手遅れではないか。血中濃度が高い方は不安に思う。エコー検査を選択肢としてあげておく必要があるのではないか。

答

保健課長
エコー検査に関しては、いろいろなことを含めてこれから研究をしていきたいと考えている。

問

保健課長
医療機関の相談体制を問う。

答

保健課長
まずは町の健康相談窓口にご相談をいただきたい。かかりつけ医へ直接相談もあると思うので、医師会へ対応についてのお願いをしている。

問

保健課長
医師会へのお願いの具体的な内容は何か。PFAS関連疾患の知識を医師が持つていて、それらに早期に対応するという意識があるかが大事だと思うがどうか。



黒田 員米

問 現場の浸透防止をすべき

答 近日中に実施する

問 ①汚染原因の土嚢が放置されていた財産区の土地にシート設置などで、雨水による浸透防止をすべき。

②損害賠償の進捗状況は。
③大阪にある企業周辺の土壌と、円城の土壌から原因物質が同一と思われるとの報道がある。町の今後の対応は。
④国県の調査に地域住民の声を届けられる工夫を。

答 山本総務課長

①町として

も早急なシート被覆が必要と考える。現在、原因企業に対して財産区から依頼をして企業側が準備をおこなっており、費用は原因企業が負担する意思があると聞く。表面水処理は道路管理者などと協議をおこない処理する。

②相手企業の弁護士と、町代理人弁護士の間で専門的な知識を踏まえ協議を進



浸透防止のため設置されたシート

答 山本町長

④国などへ被害者

めている。
③現在のところ交渉は活性炭を置いた企業とおこなう。国・県に対しては使用済み活性炭の取扱いなどに関して、早急に明確な基準を設け、主導して対応すべきとの考えを基に働きかける。

である住民の生の声を直接

届けることは大切なこと。今後は陳情などに行く場合には、可能な限り被害者住民の同行などのきつかけをつくりたい。

吉備高原都市の再開発

問 都市内の住宅用地の完売が視野に入

た今、吉備高原都市の後期計画を再度県に対して要望すべき好機と思う。その際には、吉備高原都市の計画発表から50年を経過していることも広報し、積極的な建設推進をすべきではないか。

答 町長

町・議会が一体となり、50年前の都市計画を現状に合ったものへ更新、同時に早急な道路整備などについて、まずは一步を踏み出すよう県に訴えたい。併せて50周年の節目を伝えることで後期計画推進へつなげた

生活道の維持管理

問 ①町道など生活道路の草刈りへの補助

金単価の増額を。
②道路側溝の土砂などの撤去に対する行政支援を。

答 町長

①町道草刈り補助金の30円/mの単価改正で増額を検討する。

答 大月建設課長

②道路側溝の土砂撤去などで、地域での対応が難しい場合には建設課へ相談してほしい。



地域の安心・安全を

農業委員と情報共有の場は

実現できるものと思う



渡邊 順子

問

吉備中央町の基幹産業は農業であると言える。その農業を取り巻く環境を尋ねる。

- ①農地面積はどのくらいか。また農地面積に対して作付面積の割合を、水田、畑、果樹別に尋ねる。また、この農地面積の今後の増減推移は。
- ②農業従事者の平均年齢と後継者の人数推移は。
- ③自然災害による農地被害の補償はあるか。

答

- ④新規就農者の現状は。
- ⑤草刈り応援隊、有害鳥獣対策は。
- ⑥農業委員、農地利用最適化推進委員のそれぞれの役割は。

⑦吉備中央町の農業を取り巻く環境を議員として知っておく必要があると感じる。議員と農業委員会の方々と顔合わせを含めた情報共有の場を設けることはできないか。

答

三高農林課長

- ①町の農地面積は、田1975・3ha、畑499・3ha、果樹37・1ha、計2511・7ha。そのうち作付面積は、水稲982ha、果樹52ha、豆類



豪雨が災害をもたらすことも…

80ha、野菜類、牧草地など195ha計1309ha。農地面積に占める割合は52%。農業委員会による農地パトロールを実施し対策を講じるが、農地として利用できない面積の増加が見込まれる。

②2020年に調査された農林業センサスでは、平均年齢70・8歳。2025年調査予定では、さらに高齢化が予想される。後継者の人数推移は、若者の都市部への流出や高齢化により減少傾向にある。

③自然災害による農地被害には、事業費上限40万円に対して50%の20万円。農業用施設には、事業費上限40万円に対して75%の30万円の現状復旧に対しての補助制度がある。

④平成26年度以降、58名が新規就農者として吉備中央町で就農している。そのうち3名が離農。就農後の営農指導と、心身ともにフォローしていける体制を整えることも必要と考える。

⑤草刈り応援隊補助金制度は令和元年度から施行。令和3年度までに4団体設立。それ以降はない。頑張る農家応援事業補助金や野猪等被害防止事業補助金の緩衝帯整備、鳥獣被害防止対策事業補助金などを活用していただき、持続可能な

農業経営を維持できるような農業を、補助金制度などで支援や推進をしていきたい。

⑥農業委員会の業務は、農業委員会法第6条において、農地の確保と有効利用、農地等の利用の最適化、農地の担い手の育成、確保、さらに第38条において、農業者の代表として地域の課題解決への取組みが規定されている。農業委員と農地利用最適化推進委員は連携して4つの業務を遂行する。

⑦12月12日に開催された農業委員会総会において、町議会議員と町農業委員との勉強会を提案したところ、反対はなかったので実現できるものと思っている。





丸山 節夫

問

ふるさと米不足数量の調達見込みは

答

必要数量の調達は未定の状況

問

令和6年産米出荷の状況は、高温障害による減収や買い上げ競争の激化の影響を受け、ふるさと米出荷数量不足の事態を招いた。不足数量に対する調達見込みの状況は。

答

中山協働推進課長

4月中旬には目標寄付金額の10億5000万円を突破し、受付を終了した。この目標金額は、ふるさと米出荷申込書の出荷数量を基に算定しているが、今日現在、必要数量に達していない状況である。引き続き必要数量確保に全力を尽くす。

問

今年ふるさと米不足の原因として、主に市場価格の高騰が揚げられる。昨年までは、ふるさと米買取り価格が市場価格を大幅に上回っていたが、今年は真逆の結果となった。この状況から、今後の返礼品と出荷数量、価格の関係、また支援金額の設定はいかに。

答

協働推進課長

買取り価格の設定

は、米価格の高騰に伴い、増額することも検討する。また、寄附受付では、これまで出荷希望数量に応じた目標寄附金額まで受け付けていたが、今後、出荷数量が確定するまでは、7割程度で受付を止め、出荷数量が確定した後に残り3割を再受付するなど、返礼品不足の対策も必要と考える。

問

米作り農家応援事業、今後の取り組み

答

山本町長

当該事業は、平成26年から実施しており、過去10年の累計額は、寄附金約74億円、基金の積立金24億円で町の農業振興の大きな財源となっている。今後とも、ふるさと納税制度の維持や発展の取り組みは重要と捉え、対策をしっかりと講じていく。

問

高温化対策

今日、米の1等比率は著しく低下の状況にある。今後、温暖化現

象による高温障害の影響は、米の品質低下や収穫量の大幅な減収が懸念される。町は、きぬむすめや虹のきらめきなどの高温耐性品種の栽培を推進し、稲作主産地としての優位性向上に努めてはどうか。



おいしいお米を

答

三高農林課長

県農業普及指導センターの高温耐性品種の実験では、町の適応品種としてきぬむすめや虹のきらめきが適すること。高い1等米比率の優位性や作りやすさなど、稲作を守るための調査研究と情報発信の必要を考える。

問

農業機械購入補助制度

現在の頑張る農家応援事業制度の見直

しと、大型農家（組織）を対象とする別枠予算での新規事業の創設などの支援策の必要性は。

答

農林課長

現行の頑張る農家応援事業は、令和9年度まで大きな改正はできない。令和10年度以降での支援拡充や新規事業創設など、公平で効果的な支援実施に向け、引き続き研究、検討を進めていく。

答

町長

中山間の農地を維持する上で、大規模法人・組織の役割は大変大きいものがある。町は、ふるさと納税の財源を活用し農業振興の支援補助を進めているが、大規模農業法人などさらなる支援の余地はあると考える。今ある補助金制度の財源をみながら拡充する方向で、しっかりと研究する。

その他、ふるさと米出荷契約書締結に係る公平性の確保、高温障害に対する取り組み方を問う。

次世代議会が開催されました！

令和6年度
吉備中央町次世代議会



令和6年11月29日、吉備中央町議場において「次世代議会」が開催され、加賀中学校3年生9名が登壇。執行部に自分が考えた通告書を提出し、課題や解決のためのアイデアを提案しました。

開会にあたり山本町長より「若い世代の率直な意見や斬新な提案に触れ、大変感銘を受けました。町が抱える課題、特に少子化や人口減少に対応するためには、皆さんの新しい視点が不可欠です。議員の質問に真剣にお答えしていきます。」と挨拶がありました。

今回は生徒1名が議長を務め、質問に立つ生徒と相對して議事進行。中学生議員は緊張しながらも、1人10分の持ち時間の中でしっかりと自分の意見を述べていました。身近な問題や町の豊かな自然を活かした取り組み、提案も多数ありました。

最後に、石井教育長から「次世代議員の皆さんは吉備中央町への熱い思いを持って取り組み、町をより良くしようとする姿勢を示してくださいました。その努力と勇氣に感謝するとともに、この経験が今後の学校生活や人生に役立ち、大きく成長されることを期待しています。」とエールを送られ、中学生議員の表情も緊張から笑顔に変わりました。

民生教育常任委員会

12月5日委員会を開催した。

アフタースクール (教育委員会)

地域や企業・団体の参加により、令和7年6月からスタート。

放課後児童クラブ (子育て推進課)

令和7年度より公設公営となる。平日は授業終了後から午後7時まで。土曜日及び長期休業は午前7時30分から午後7時まで。

町指定ごみ袋価格改定 (住民課)

令和7年4月から45ℓ300円20ℓ150円に改定。

保健課所管事業 (保健課)

①PFAS(有機フッ素化合物)血中濃度検査を実施した。

11月25日から12月1日まで644人(13歳以上)

12月1日30人・12月8日37人計67人(2歳から12歳)が採血した。

今回の日程で採血できなかった方を対象に成人、小児共に、別の採血機会を設け、対象者には日程が決まり次第お知らせする。

検査結果は、令和7年1月中に送付予定。

今後のPFAS血中濃度検査半減期を考慮し、次回は5年後実施を検討している。

採血及び血液検査(生化学検査・甲状腺ホルモン検査)業務委託機関

PFAS血中濃度検査分析機関

健康影響調査業務委託事業費6120万円

②愛育委員会・栄養改善協議会組織体制を改編

令和7年度から、愛育委員会と栄養改善協議会を

合併し、一つの組織として活動する。

③出産育児一時金及び葬祭費の給付額を変更

県へ保健事業の主体が移るため国民健康保険事業の保険料水準の統一に伴い、令和7年度の給付額を変更する。

・出産育児一時金
健康保険法で示す基準額(産科医療保障制度加算対象出産50万円・それ以外48万8千円)。
・葬祭費
現行の6万円から5万円に変更(県下統一)
・後期高齢者医療葬祭費
町独自の施策1万円の支給廃止。

陳情、全員賛成で採択(付託案件審査)

12月4日の本会議で付託された「持続可能な学校の実現をめざす」実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について願意妥当と認め全員賛成で採択。本会議に報告した。

総務産業常任委員会

12月6日委員会を開催した。

送水管工事(水道課)

円城浄水場水源切り替えに伴う送水管工事の12月議会補正額1億8600万円の内訳、3つの工区に分けた工事概要(令和7年度完成予定)。

税の前納報奨金 (税務課)

税の前納報奨金、令和8年4月からの廃止。

へそバス(総務課)

へそバス利用状況など担当課から説明を受け、質疑をおこなった。



鳥獣害対策DXのドローン飛行実演を見学!

デジタル化特別委員会

11月21日委員会を開催した。

交通DXの運用 (総務課)

交通DXではデジタル技術を活用し、安全かつ低コストの交通システムを構築して町民の利便向上を図る事業。

①デマンドタクシーの予約・配車にAI技術を活用。

②へそ8バスの運行をリアルタイムで表示するシステムを導入。

鳥獣害対策DXの運用 (農林課)

鳥獣対策DXは農業を鳥獣害から守るための事業。

①ドローンに搭載した赤外線カメラで猪などの発見
▼ドローンに猟犬の鳴き声を録音したスピーカーを搭載

②鳥獣害の監視装置「ほかパト」の拡充

▼令和6年度から導入補助金設置。

③鳥獣害対策クラウドの運用

▼狩猟報告事務の軽減

誰一人取り残さない
エンゲージメント・コミュニティの創生事業の運用(企画課)

令和6年度新規の取り組みはない。

①きびアプリ

▼登録者数延べ1930人
▼10月期

▼月1回以上利用数461件。

▼4月～10月までの実績

・買い物サービス1210件(約170万円)

・困りごと相談件数1389件(約1000万円)

・遠隔医療17件など。

▼令和6年度のランニングコストは約7700万円。



定例会って どんなことをしているの?



議長が会議の始まりを宣言。

議会のスケジュールや進行を確認。

議案とは、議会で審議する内容。

条例の改正や予算など、執行部から提案。

議員が地域の課題や住民の声(子育て支援、道路整備など)を取り上げ、行政側に質問。

討論…反対か賛成かの意見を議員が述べる。
採決…議員の多数決で議決。

本会議は、町の未来を考え、必要な決定を行う重要な場です。議員は住民の代表として、皆さんの声を行政へ届けます。町の運営に欠かせない「お金の使い方」「ルール改正」など、大切なことが決まります。



追跡

あの時の質問
どうなった？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。



Q 質 問 (令和3年9月定例会)

フードバンクを開始し、生活支援を受けている世帯を支援してはどうか。

A 答 弁

フードバンクについて、取り組むべきとの意見をいただいている。先進地への視察、現状把握、調査をおこない検討していきたい。

現 状 (福祉課)

令和3年度に神石高原町のフードバンク事業の取り組み状況について視察をおこなった。現在、毎週木曜日、岡山市のNPO法人を通じて食料品を提供いただいているほか、「福祉まつり」でのフードドライブ（家庭で使いきれない食料品を募る活動）やNPO法人ジャパンハーベストから食料品を提供していただき、支援を必要としている世帯に対して町が食料品を配布している。

Q 質 問 (令和3年12月定例会)

町内巡回バス利用者によるアンケートの意見や、今後の運行にあたって課題や改善点があれば尋ねる。

A 答 弁

アンケートの内容は、経由地を増やしてほしい、また、土曜・日曜・祝日の運行をしてほしいという意見があった。今後、実証運行をとおして、皆さまの意見と運行業者の意見を聞き、運行経路・時刻、乗降場所なども改善や見直しをしていきたい。

現 状 (総務課)

同一方向の運行でなく、双方向の運行にするなど、利便性の向上を目指し、見直しをおこなっている。現在は、令和6年10月に住民の方々におこなった公共交通アンケートの集計結果の分析を進めている。年々、利用者は増加しているが、今後も分析結果を基に、利用者にとって利用しやすい町内巡回バスになるように、引き続き詳細な調査や見直しをおこなっていきたい。



HAPPY NEW YEAR!!



新年あけましておめでとう
ございます。
巳年は、新しい挑戦や変化
に前向きな年とも言われま
す。この「議会だより」も、
新しい風を吹き込み、議会内
容や議員活動を、より分か
りやすく、読みやすい紙面にな
るよう、取り組んでいきたい
と思います。
昨年9月の議会議員選挙に
より、広報委員も新メンバー
となりました。
本年もどうぞよろしくお願
い致します。
最後になりましたが、皆さ
まのご健康とご多幸を心より
お祈り申し上げます。
渡邊 順子

編集
後記